

きずな一絆

～がん診療推進室NEWS～

2018年
Vol.6

医療法人 清梁会
発行所 高梁中央病院
発行日 平成 30年5月



撮影 中村隆資 副院長

What's New -新着トピックス-

- がん患者コミュニケーション研修会
- キャンサーボード
- 特別コラム「全国のがん登録、岡山県のがん登録」

がん相談支援センターからのお知らせ

がん相談支援センターでは、看護師や社会福祉士等の相談員が、「がん」についてのご相談をお受けしております。お気軽にご連絡ください。

また、がんに関するパンフレットや本などを置いております。書籍に関してはお貸しすることも可能ですので、相談センターまでご連絡ください。

がん患者コミュニケーション研修会

【がん患者とのコミュニケーション】

平成29年11月28日に、岡山大学病院の精神看護専門看護師である馬場華奈己様を講師に迎え「がん患者のコミュニケーション」と題して、講演をしていただきました。当院の職員の他に、医師会及び市内の病院の方々も参加されました。

近年がん患者は増え、2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで死んで行く時代です。そのような時代の中、地域がん診療病院である当院の役割は何か、がん患者さんとどのようなコミュニケーションを取れば信頼関係が得られ、患者さんのがんの苦しみを和らげるかを考えることができた研修でした。

「観察」「傾聴」「確認」「共感」の4つを行うことで患者さんとのコミュニケーションがもてる。今回の研修を参考にして、患者さんのより良い看護をしていきたいと思えます。



がん患者ボード

【がん患者ボードについて】

平成29年12月15日、本年度第3回目のがん患者ボードを内科医師の涌波優先生に講演形式で進行して頂きました。がんという疾患に対する基本的な説明にはじまり、事例検討では緩和ケアにおける疼痛コントロールについて、鎮痛薬に焦点をあてた内容でした。さらに「患者様の状況を診ながらの適切な薬剤選択を行うことが、本当の意味で患者様にとっての緩和になれる」などといった、患者様のQOL向上に対し、本当に必要なケアを考えることの重要性について講演頂きました。



【特別コラム】

「全国のがん登録、岡山県のがん登録」

診療情報管理室 リーダー 滝澤 宏和



「日本人の2～3人に1人はがんになります」

「2018年現在、がんの10年生存率は上昇しています」

「最近の肺がん患者の傾向としては、女性と非喫煙者が増えています」皆さんはこのような記事を見かけたことはありませんか？

この記事のように「がん」という疾患の実態を把握するために行われている事業が「がん登録」とよばれ、日本では「全国がん登録」

「院内がん登録」という2つの制度が用いられています。

この登録情報は国立がん研究センターによって収集され、上記の記事のような国のがん対策や都道府県の地域医療計画の基礎情報として日々活用されています。

さらに岡山県では、岡山県がん診療連携協議会院内がん登録部会による県内での院内がん登録集計事業を行っています。

これは県内の医療機関がそれぞれ、がん診療においてそのような役割をもつべきか、など、地域ごとの指標を見出すことが可能です。当院も地域がん診療病院として2015年症例より参加することとなりました。

参加施設は地域がん診療連携拠点病院を中心とした13施設で構成されており、医療機関による集計規模の違いはありますが、地域のがん診療を担う医療機関として、情報提供の側面からもがん診療に貢献させて頂きたいと考えています。

データは、エールになる。

がんという国民病に、国民全員で立ち向かう。そのために全国がん登録は始まりました。がんの診断情報や治療経過を国でまとめて管理・分析し、今後の治療や手術に活かしていく仕組みです。一人ひとりの情報が医療現場を、そして、がんと闘う多くの患者を支えます。みんなで打ち克つ未来のために。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

厚生労働省・*****国立がん研究センター

国立がん研究センター がん情報サービス

全国がん登録 検索

厚生労働省・*****国立がん研究センター

誰が登録を？
登録についての問合せ先は？
登録した本人のメリットは？
個人情報が漏れる心配は？
データの管理は誰が？
なぜ今スタート？
具体的にどう役立つの？
こういう制度は、海外にもある？

がん診療推進室よりお知らせ

○がんサロン高粱

日時：平成30年5月26日（土）

場所：高粱中央病院 B館2階 健診センター

○地域連携カンファレンス

日時：平成30年7月 開催予定

場所：未定

ダイエットとがん予防 意外な共通点



習慣の改善で、がんのリスクは下げられます。



～編集後記～

平成30年も早いもので、もう4ヶ月が経ちました。今年は寒暖の差が激しく、やっと穏やかな日が続くようになりましたが、皆さま如何お過ごしでしょうか。4ヶ月が経つと同時に新年度が始まって早1ヶ月、新人の方、異動された方も新しい環境に慣れてきた頃ではないでしょうか。私も心機一転、この4月から上記の「ダイエットとがん予防」の習慣の改善を図ろうと、お酒を控えて運動をするよう心掛けています。習慣の改善で「がん」のリスクが下がるようですので、皆さまもこの機会に見直してみてもはいかがでしょうか。

◆ 広域地図



◆ 周辺地図



医療法人 清梁会 高粱中央病院
SEIRYO GROUP 見つめているのは命、未来。
 〒716-0033 岡山県高粱市南町53番地
 TEL:0866-22-3636 (代表)
<http://seiryokai.jp/takahashi/>

患者さま窓口

がん相談支援センター
 直通TEL：0866-56-3939
 直通FAX：0866-56-3166
 E-mail：msw@seiryokai.jp